

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	61	自室で過ごしたり屋内で過ごすことが当たり前になっている利用者が多い。	生活空間の拡大を図り、画一的でない過ごし方を提供することが出来る。	業務の流れではなく利用者個々の生活リズムやその時の心身の状態に合わせて対応していく。また利用者との触れ合いの時間をしっかり持つよう業務内容の見直しを図っていく。	12カ月
2	62	一人ひとりに合わせた外出支援が難しい。	職員や家族が協力し、少しの時間、近い距離からでも利用者個人の思いを実現できるところに行くことが出来る。	1月に1～2時間くらいは家族と過ごせる時間やマンツーマンで対応できる時間を作り、昼ご飯を食べに行ったり、買い物に行ったり利用者のニーズを聞きだし対応する。	12カ月
3	21	職員のさまざまなストレスがうまく解消できないでいる。	職員が共通の意識を持ち、仕事に対する悩みや迷いを話し合い、解決に向けていくことが出来る。	職員同士で解決が難しい事例があればその都度話し合う。議事録も取り今後に活かす。利用者個人の人格、生活リズムなどを真摯に受け止めながらも介護に対する苦痛や喜びを職員や利用者、家族らとともに分かち合える意志を持ち、また環境づくりをする。	12カ月
4	65	身体拘束は必要がないので行っていないが高い次元での身体拘束廃止に取り組んでいきたい。	身体拘束についての正しい知識を持ち、利用者個人の尊厳を尊重して対応することが出来る。	定期的に身体拘束についての研修を行う。利用者個々の人格、生活リズムを把握し、業務内容の見直しをしていく。	12カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。